

野生有害鳥獣被害対策の強化を求める意見書

我が国の農業・農村は、食料の生産活動を通して自然環境の保全をはじめ、国土の保全など多面的な役割を果たしています。

しかし、当市は、市域の10%を占める道立自然公園を有し、緑豊かで静ひつな環境が保たれている一方で、近年、道立自然公園内外において、野生鳥獣の生息分布が拡大・増加し、農業被害が年々深刻化しています。各地域においてそれぞれ防護柵の設置や駆除活動に取り組んでいますが、十分な効果が上がっていないため、被害の深刻化・広域化に対応して、野生有害鳥獣対策の抜本的な強化が求められています。

よって、国におかれましては、以下の対策を講じるよう強く要望します。

記

- 1 野生有害鳥獣の生息数等を的確に把握し、これに基づく計画的な個体数管理体制を確立すること。
- 2 各地域が連携した広域的な被害防止対策に対する支援を行うこと。
- 3 野生有害鳥獣対策技術の開発・普及、専門家の育成等を推進すること。
- 4 野生有害鳥獣対策関連予算の拡充、地方財政措置の充実を行うこと。
- 5 野生鳥獣の生息環境づくりに配慮し、人と野生鳥獣のすみ分け対策を推進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成25年3月25日

北海道江別市議会

提出先

内閣総理大臣

総務大臣

農林水産大臣

環境大臣